

チョウ ジュン CHO JUNE

「人の在り方」をテーマに、線が人間と構築された
プライバシーの空間における不可視的な繋がりを
表現する。



自分が撮影した写真の上に、傷つけ跡を残したことが
版画の技法に代弁させたメッセージをオリジナル造形言語を表すことになる。
線は、夥しい神経の揺らぎを、微小で不規則な爆発の明滅を繰り返し繋がって行く
流れのようだ。女性の姿にまとわる不自由の様でもあり、優しく愛撫する様でもある。

【略歴】

1993年中国生まれ

2018年 東京造形大学大学院美術研究領域修了

【受賞歴】

2021年 美の起源 奨励賞

2020年 渋谷区芸術支援プログラム入選

2019年 松濤美術館 奨励賞

2018年 町田国際版画美術館 収蔵賞

2018年 東京造形大学大学院 ZOKEI 賞・校友会奨学金

2017年 神奈川県美術展 入選

2017年 八王子市夢美術館公募展 入選

2016年~2018年 神山財団芸術奨学金